

おぎ
だより

平成28年7月号

杉並区立井荻小学校

平成28年7月1日発行 No.576

「努力する力」「我慢する力」

教務主幹 小室 純子

先日、全校朝会で校長先生から「なりたい自分」についてのお話がありました。偉業を達成したイチロー選手を例にあげ、記録ももちろん素晴らしいが、それと共に記録を達成するまで続けてきた努力が素晴らしく、なりたい自分になるための努力を怠らず継続していくことの大切さについてのお話でした。

「なりたい自分」になるためには、「努力」が欠かせません。ところが、子どもたちを見ていると、言葉としての「努力」は知っていても、実際に「努力する」とはどういうことかについては、分かっているのかな？と感じることがあります。漢字のミニテストが終わった後、100点が取れるという手ごたえを感じている子がいます。きっと、家でしっかり練習してきたのでしょう。しかし、宿題の練習もそこそこにテストに臨んだ子が「なんで自分は100点じゃないんだ！」というようなことを言ったりすることがあります。まるで、運で点数が出ているような感覚なのです。テストの前の「努力」の存在には気付いていないのです。まずは、「努力」の存在について教えてあげなくてはと思います。しかし、漢字テストのように「努力」の仕方が明確なものばかりではありません。自分で「努力」する力を身に付けるためにはどうしたらいいのでしょうか。

「努力する力」とは「我慢する力」だと思います。「我慢する力」があれば、目標を達成するためにやるべきことを継続することができます。しかし、「我慢する力」が足りないと、せっかく目標を達成するためにすべきことが分かっているにもかかわらず、続けて取り組む力がないので、結局、諦めるという楽な選択をすることになってしまいます。それを繰り返していると付けられるはずだった力が身に付かないままになってしまいます。

「我慢する力」は、短時間で身に付くものではありません。でも、日々の生活の中で養うことができるものだと思います。「宿題を忘れずにする」「次の日の準備は前日に済ませる」「あいさつをする」「人が話しているときは、静かに最後まで聞く」など当たり前の小さなことを繰り返し積み重ねることが「我慢する力」を身に付ける近道になります。目の前のことを言い訳しないで、一生懸命取り組める力が、やがて「我慢する力」となっていきます。当たり前のことを当たり前にできるようにするのは簡単なようで、かなりの忍耐を要するものです。（大人も子どもも・・・）でも、その力を今この時に付けることが大切で、この時を逃したくないと思ってしまいます。

楽しい夏休みがもう少しでやってきます。今から、夏休みのイベントを楽しみにしている様子が子どもたちの会話からも伝わってきます。普段できない体験をするとともに、ぜひ、「我慢する力」を伸ばす夏休みにしてほしいです。親子で話し合い、約束を決めて実行できたら大きな力が身に付きます。（例えば、宿題をする時刻を決める、読書の時間を決める、毎日決まったお手伝いをするなど）そして、決めたことを継続していくことで一人一人の「我慢する力」が育ち、それがやがて「努力する力」となり、「なりたい自分」につながります。

一度きりの人生を、豊かなものにするためにもこの時期の「我慢する力」「努力する力」を伸ばせるよう学校でもご家庭でも見守っていきましょう。

「どの子ども伸びる学校をめざして」 —特別支援教育の目から—

井荻小学校校内委員会

杉並区は、「教育ビジョン」で「共存共生」の世の中を目指しています。また、今年度は、「障害者差別撤廃法」の施行の年になっています。つまり、どんな人もお互いに支え合いながら生きていける世の中を作ろうというのが、大きな流れだと思います。「どの人も共に生きる世の中」を作るといことは、「どんな人も支援される」とともに、「どんな人も支援する集団になる」ということだと思うのです。とても難しいようにも思いますが、要は「どんな他人も自分と同じように大切に考える」ということではないでしょうか。今、お互いの違いを認めつつ、共に良さを認め合う人間関係が求められています。



アレルギーをもった子どもたちは年々増えており、食物アレルギー対応については、区全体、学校全体で対応しています。全教職員で情報を共有するだけでなく、給食室とも連携しながら、食器の色を変える、おかわりはしないなどの約束事を決めて全員で取り組んでいます。けれども、実は約束事を進めるためには、その子の特性を理解し支援してくれるクラスの子どもたち全員の温かい協力が何より大切なのです。

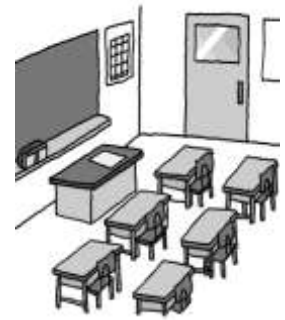
本校では、今年度補聴器をつけた児童が入ってきました。入るにあたって私たちは、個々の児童のできること、苦手なこと、配慮すべきことについて共通理解を図るとともに、研修会を開き、補聴器体験をしたり、座席の配慮や口をしっかり見せながらゆっくり話すことなど、配慮すべきことについての確認をしたりしました。また、保護者の方々とも話し合いを持ち、学校で育てる力、家庭で行うことなどの共通理解を図り、クラスの子どもたちにも配慮すべきことをきちんと伝えて新学期をスタートしました。一番うれしいのは、最初の不安をよそに、子どもたちは自然に友達を受け入れ、何のトラブルもなく、仲良く生活していることです。よい集団ができると、障害のあるなしにかかわらず、お互いの良さを学び合うことができることを実感します。



ほかにも、ことばときこえの教室、情緒障害通級学級など、通級に通って専門の先生から支援を受けている子どもたちもいます。また、子どもたちは、病名が付いていようといまいとそれぞれに得意不得意を持った個性豊かな存在です。その個々の子どもの特性に合わせ、教師が配慮しながら指導に当たるとともに、どのクラスでも子どもたちがお互いにお互いの良さを認め合い、生活できることが何より大切です。

学校は集団生活の場です。その集団が、「友達を温かく受容できる子ども集団」であるということが、今、一番大切なことだと考えています。子ども同士の与える影響は、いい意味でも悪い意味でも甚大です。子どもたちが温かくかかわってくれれば、不安を抱えている子どもも安心して自分を表現することができ、見る見るうちに苦手を克服していきます。成長できた子どもも、力を貸してあげられた子どもも、顔が輝いてきて、うれしい限りです。しかし逆に、間違いを馬鹿にされた子どもや否定的な言葉を

投げつけられた子どもは委縮してしまい、自分を表現することができなくなってしまいます。個々の子どもの力を伸ばすためにも、どの子どもも認め合える学級集団づくりが大切です。そして、その集団を作るのは実は一人ひとりの子どもたちなのです。「人の弱さを受け入れることのできる子ども」ということは、「こんな言葉を言われたら、相手はどんな気持ちになるだろう」と想像することができる子どもです。自分のわがままを抑えて人のために行動することができたら、人を喜ばせることができたならこんなにも気持ちいいことなのだという体験も必要だと思います。



子どもは「体験」から学んだことは、自分で発展させることができ、大きな力を発揮します。ご家庭でもぜひ、「良い体験」をたくさんさせ、「どんな人も受け入れ、共に生きていくことのできる子ども」に育てるため、力を貸して下さい。

学校評議員のご紹介

今年度、杉並区教育委員会より委嘱を受け、井荻小学校の学校評議員を担当して下さる皆様が決まりましたので、ご紹介いたします。

清水 汎	井荻三丁目町会会長	岩淵 晴子	学校支援本部事務局長
	震災救援所会長	中谷 理彩子	学校支援本部広報部長
田中 奈那子	元教育委員	澤地 さちえ	前主任児童委員・地域協力者
山中 由也	早稲田大学教授	高橋 裕美	地域協力者
二村 好彦	元 PTA 会長 (井荻小野球部監督)	稲富 太志	前 PTA 会長
加藤 友子	主任児童委員	会田 洋子	青少年委員
			(敬称略)

一年間の任期で、地域に開かれた学校づくりの推進と本校児童の健やかな成長を見守っていただきます。よろしくお願ひします。

7月行事予定

1	金	保護者会（1，2，3年生） 荻中生徒会訪問・川の学習（5年生）
2	土	囲碁 チャレンジキッズ お囃子
3	日	
4	月	委員会 SC 荻中生による読み聞かせ
5	火	保護者会（4，5，6年生）
6	水	
7	木	都・学力調査（5年生） 口腔保健指導（3年生）
8	金	安全指導 お話会① 水道キャラバン（4年生）
9	土	土曜授業・セーフティ教室
10	日	
11	月	避難訓練（不審者対応） SC お話会② クラブ
12	火	社会科見学（3年生）
13	水	ふれあいタイム 月と土星の観察会
14	木	給食終
15	金	終業式・大掃除
16	土	いおぎ夏まつり 囲碁
17	日	
18	月	海の日
19	火	夏期休業日・水泳指導・個人面談・ パワーアップ教室始
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	お箏といけばな
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	水泳指導・学習教室・個人面談終
30	土	

7月の生活目標

整理整頓と掃除で

心もピカピカにしよう

生活指導部 古野 博

宇宙を支配する法則の一つに「バラバラの法則」（エントロピーの法則）と呼ばれるものがあります。どういう法則かというと、「時間が経つと、まとまっているものは必ずバラバラになる」という法則です。砂糖のビンをひっくり返すと砂糖はバラバラに散らばります。一度整理した道具箱の中はいつの間にかバラバラになっています。その逆は自然には起こりません。

では、いつも道具箱が整理整頓されている人がいるのはなぜでしょうか？その人は「バラバラの法則」に打ち勝って、常にまとめよう・整頓しようという行動を続けているからです。

7月は整理整頓の月です。自然にバラバラになりがちなものや持ち物をしっかりまとめて、今学期を締めくくりましょう。

心も一緒です。友達との絆も、安心して何もしないことを続けていると、いつの日かバラバラになります。自然界に「バラバラの法則」があることをしっかり知って、そうならないために、いつもお互いを思いやる行動を取り続けることが大切です。

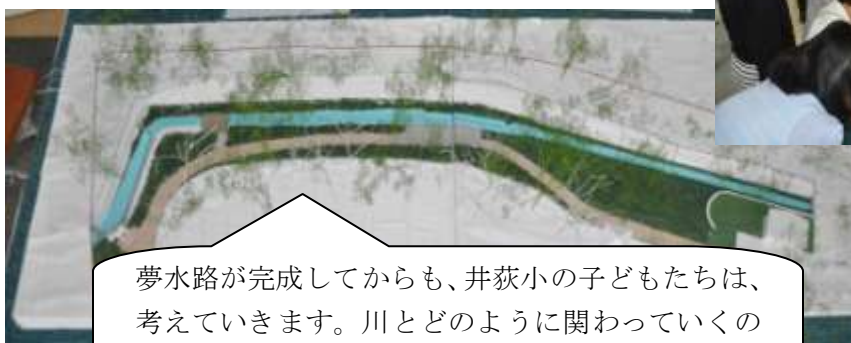
人の努力で、自然をほんの少しだけ超えて行けた時、とっても嬉しくて誇らしい気持ちになりますよ。

善福寺公園・夢水路（通称）の設計図ができました！

井荻小学校の児童が、杉並区に「善福寺川を遊べる川にしたい！」という希望の手紙を書いたから2年。4回のワークショップでの話し合いを経て、ついに、夢水路の設計図とイメージイラストが発表されました。夢に近づいていきますね。

予想模型を組み立てる6年生。

夢水路・完成イメージ



夢水路が完成してからも、井荻小の子どもたちは、考えていきます。川とどのように関わっていくのか？自分の周りの環境は？未来をどう創るのか？